



企業向けビジネスプロフェッショナル会社

ビジュアルで得られるブランド価値の最大化

企業向けサービスを提供するグローバル企業の A 社は、2009 年からゲッティ イメージズが提供するオンラインファイル管理システム、メディアマネージャーを使っている。

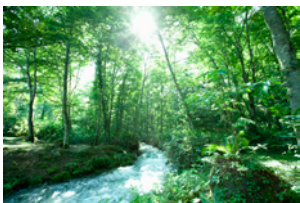
導入に際して、ブランドに沿ったビジュアル素材の管理、共有という機能に加え、著作権管理の面からも安全にファイルを扱えるシステムであることが導入のポイントとなったと言う。

同社の広報担当の 2 名にメディアマネージャーの運用、利点についてお話を伺った。

「私たち広報部では、既定のビジュアルアイデンティティ (VI) に沿った画像の使用を推進するなど、ブランド管理の役目も担っています。しかし、社員が使う写真 1 点 1 点の内容や画質などを事細かに確認し、対応することの難しさを感じていました。既にグローバルで利用しているオンラインライブラリーも使っていたのですが、表示言語が英語だけということや日本人や日本の風景などのコンテンツが少ないなどの理由で、国内での活用は限られていました。

そんな時、ゲッティ イメージズにブランドに沿った画像の一括ライセンスと、その画像データを管理・共有するシステムの提案をいただきました。ゲッティ イメージズの名前は、ストックフォト会社として知っていましたが、グループ全体で共有できる独自のフォトライブラリーを構築するなどのソリューションの提供については知りませんでした。特に、ゲッティ イメージズでライセンスしたストックフォトが自動的にメディアマネージャーにアップロードされ、ファイルの管理ができるという、一元化されたシステムに着目し、契約に至りました。

「国内のグループ会社の各社員に使ってもらえるよう、定期的に社内説明会を行っています。統一感のあるクオリティの高い写真を提案書やパンフレットに使うことが、信頼感や洗練された印象につながると社内で好評です。また、普段やり取りの少ない部署とのコミュニケーションも増えて、これからも新たなシナジー効果が生まれそうです」と、メディアマネージャー導入に至った理由とその反応に加えて、社内で得られた意外な効果も明かしてくれた。



90032224, ICHIRO/ Digital Vision



92347800, Image Source/ Image Source



82040414, Alistair Berg/ Digital Vision



85745032, Thomas Northcut/ Digital Vision



84066473, Michael Hitoshi/ Digital Vision



コンプライアンス体制の確立

メディアマネージャーの利用が4年目に入った現在は、年間約150点のロイヤリティフリー写真を社員の要望に応じて随時Getty イメージズでダウンロードしながら、メディアマネージャー上に保管している。また、最近では社外の関係者や制作会社にもメディアマネージャーを通じてファイルを送るなど、ファイルサーバとしても利用しているという。

「私たちのようにグループ会社の多い企業で素材を管理する必要がある部署には、ぜひおすすめです。社員それぞれの要望に合った写真をストックフォトサイトから購入する手間を省くことができるのはもちろん、外部とのファイル共有がスムーズになりました。そして、何より著作権の管理が企業の信頼やビジネスそのものに直結

する弊社のような業態で、社員ひとりひとりが著作権法に詳しくなくても違反する心配がなく、未然にトラブルを防ぐことができるのは大きな価値と言えます」。

国内でブランドガイドラインに合ったフォトライブラリーを構築し、著作権管理や画像に対する企業コンプライアンスの必要性をここまで意識している企業は、かなり先進的と言える。

グローバルな視点でビジュアルブランディングを策定し、日本国内に広範囲に企業サービスを提供するA社と、ビジュアルを通じて国内外での企業価値の最大化をサポートするGetty イメージズのコラボレーションはこれからも続きそうだ。



メディアマネージャー

画像素材、動画、ドキュメントなどを一ヶ所で管理し、必要な資料や素材を簡単に検索、ダウンロードできるウェブ上のシステム。Getty イメージズからライセンスした素材は自動的にメディアマネージャー上に同期され、著作権情報も簡単に管理できる。

詳しくは：

<http://mm.gettyimages.com/mm/actions/home.do>